

○児童の実態と教師の願い

【これまでの児童の学び（課題解決をする活動について）】

「きつつきの商売」では、初発の感想から、疑問やみんなで話し合いたいことを課題として設定し、学級全体で一つ一つ課題を解決していった。「ちいちゃんのかげおくり」では、登場人物・時・場の設定を押さえ、挿絵を並べ替え、主な出来事を捉えて土俵を揃えた。その後、初発の感想をもとに、一人一人が課題を立て、自分で解決する活動に取り組んだ。

【本単元での児童の学びと教師の願い】

本単元では、「ちいちゃんのかげおくり」と同様に、初発の感想から生まれた疑問や友達と話し合いたいことを基に、自分で学習課題を立て、解決する活動に取り組む。課題解決については、①叙述から考える。②自分の経験と重ねる。③今までのポイントレッスンで学んだことを想起する。これらを確認し、書き込み、吹き出し、色分けなどをしたり、心情曲線を使ったりしながら思考を膨らませたり整理できるようにさせる。自らがもった疑問を解決することで、児童がより主体的に学習活動に取り組む姿を期待したい。

○**単元名** 登場人物の気落ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて自分の課題を解決し、感想や考えをもとう 「モチモチの木」(光村図書 3年下巻)

○単元の目標

- ・場面の情景や人物の言動、気持ちや性格を表す語句を理解し、語彙を豊かにしている。(知(1)カ)
- ・人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて想像している。(思C(1)エ)
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(思C(1)オ)
- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付こうとしている。(思C(1)カ)
- ・感想や問いを基にして課題を立て、解決の仕方に見通しをもち、進んで課題を探究している。(態)
- ・進んで読書をし、思いや考えを伝えようとしている。(態)

○この単元における学びの構造転換の要素

【学習方法について】

学びの構造転換を実現するためのキーワードは、【個別の学び】【探究の学び】【協同の学び】である。国語科の特質に応じた見方・考え方を広く働かせながら、学習者に主体性と多様性・多様包摂性を育む。そのために、課題や解決方法を自ら選択し、探究にじっくり浸る条件や環境を整える中で、共に認め合い高め合う共同が生まれる展開を目指す。

①感想をもつ

題名読みの後、教師の範読を聞き、登場人物・時・場の設定を押さえ、豆太がどのような子かを話し合ってから感想を書く。感想は、心にのこったこと、疑問に思ったこと、みんなで話し合いたいことの観点で書く。

②課題を立てる

初発の感想から、個別の課題を立てる。課題を立てた後、友達と自分が立てた課題とその理由を交流する。立てた課題は短冊に書き、掲示をしてお互い見ることができるようにする。

③叙述から考える

全文シートを使って、着目する言葉や文にサイドラインを引いたり、色分けしたり、矢印や囲みができるようにする。下段には、書き込みができるスペースをつくり、吹き出しや、自分の経験、心情曲線などを書き足せるようにする。

④共有する

全体交流を設け、課題解決の過程を交流したり、教師が紹介したりしながら、お互いの課題解決の様子を伝え合う。これにより、児童は友達の考えとつなげて自分の課題への理解を広げたり、修正したり、さらに探究できるようになる。

【教師の役目】

①協同学習の環境を整える

それぞれの短冊に書かれた課題を掲示する。必要な時に友達に相談したり話し合ったりすることができるように、その時間に誰がどのような課題に向かっているかが分かるようにする。全体交流では、皆の考えを広げるような解決をしている児童を紹介し、全体の理解を深める。また、内容だけではなく、解決の方法も紹介する。

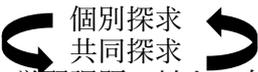
②個別のアドバイス

学習シートを通して、一人一人の課題解決の進捗状況を把握しながら、必要なアドバイスをする。どうしても、一人で課題解決が進まない児童とは、一緒に解決を進める。

③ポイントレッスン

児童の課題解決の様子を把握しながら、児童にとって必要なタイミングを見計らってポイントレッスンを入れ込む。個別探究と言っても、教えるべきことはしっかり教えるのが教師の役目である。ポイントレッスンでは、指導事項や読み方や学び方を指導する。ポイントレッスンで学び、つけた力は、児童にとって汎用性のあるものになる。

○単元の学習展開と評価の計画（全11時間）

時	学習活動・学習課題 (○付き数字は授業時数の目安)	学習評価	
		つまずきと支援 (指導に生かす評価)	総括に用いる評価 (記録に残す評価)
1次	① 題名読みをして内容を想像する。 本学習材を読み、登場人物・時・場の設定を確認する。	発言・記述(思)	発言・記述(思)
	② 物語の構造を捉える。	発言・記述(思)	発言・記述(思)
	③ 感想、疑問、みんなで話し合いたいことを書き、個別の課題を立てる。	発言・記述(思)	発言・記述(思)
2次	④⑤⑥⑦⑧ 課題を解決する。 ・自分の考えを形成する。  ・学習課題に対する自分の考えをまとめ、共有する。 ※教師は適宜ポイントレessonを行う。	発言・記述・観察(思)	発言・記述・観察(思)
3次	⑨⑩⑪ ・斎藤隆介作品を読み、紹介する。 登場人物の変化、テーマどちらかを選んで着目して紹介ポスターをつくる。	観察・記述(思)	観察・記述(思)

○本時の展開（5・6・7時/11時）

	主な学習活動	※留意点☆評価
導入 5分	○個別探求について確認する。 音読→書き込み めあて 自分の学習課題を解決しよう。	※書き込みの観点や課題解決の方法を確認する。 ・叙述を根拠にして ・言葉の見方を変える ・自分だったら…想像する ・実際にやってみる
展開 35分	○自分の考えを形成する。 個別探求 共同探求 ・必要に応じて、仲間と交流しながら探求する。 ○ポイントレesson A~C ○学習課題に対する自分の考えをまとめ、共有する。	※担任に相談したい子、友達と相談したい子、グループで話し合いたい子、それぞれの学習方法を尊重する。 ☆自分の課題を解決することができている。 ※予想されるポイントレessonをタイミングを見ながら行う。 ☆ポイントレessonによって汎用的な力が身に付いている。
まとめ 5分	○次時に取り組む自分の課題を確認する。	※解決した課題にはシールを貼らせる。

<予想されるポイントレesson> ◎…指導事項 ポ…ポイントレesson ➡身に付く汎用的な力

A◎場面の情景や人物の言動、気持ちや性格を表す語句を理解し、語彙を豊かにすること。

ポ…比喩表現の意味と効果を理解する。

「降り落してくれる」

「空いっぱいのかみの毛をバサバサとふるって」

「霜がかみついた」

➡比喩などの表現技法に着目することで、場面の状況、登場人物の気持ちなどを想像することができる。

B◎人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて想像すること。

ポ…「ダッシュ」の働きを理解する。

「おくびょうなんだろうかー」「ーそれじゃあ、おらは、とってもだめだー」「見てえなあー」

➡ダッシュのような符号の意味を考えることで、登場人物の心情を捉えることができる。

C◎人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて想像すること。

ポ…場面を比較して考える。

火が灯るモチモチの木を見ることを諦めていた豆太だったが、どうして見る事ができたのだろう。

➡登場人物の言葉や行動に着目して場面を比較することで、登場人物の気持ちの変化やその理由を捉えることができる。